

錦江町立大原小学校 学校だより

令和5年5月号



おおはら

創立137周年(明治20年創立)

学校のホームペー
に、は、右のお入
一、だ、か、右の
コ、一、さ、い、に
ク、を、横、き、に
と、と、右、側、マ
一、が、出、て、す。



合言葉：にこにこ(笑顔) ぐんぐん(努力・挑戦) ぼかぼか(命)

あいさつは人と人の心を通わすことば

大原小学校 校長 久保田 昭二



5月の生活目標は「元気よくあいさつをしよう」です。正門での朝の立哨指導の際、多くの子供たちとあいさつを交わします。元気よく笑顔であいさつをしてくれる子、声かけに対して立ち止まり深々とあいさつをしてくれる子、正門の前で、門礼をする子と様々ですが、大原小学校の子供たちは、実に気持ちのよいあいさつをしてくれます。これも、保護者の皆さんや地域の皆さんが、「おはようございます。」と職員や子供たちにあいさつをする環境があるからだと思います。大原校区の素晴らしさを毎日感じる事です。感謝申し上げます。また、5月12日(金)には3年生以上の子供たちが参加しての「児童総会」が行われました。ここでも「あいさつ」について話し合い、今年度の児童会一事徹底は「心のこもったあいさつで、笑顔いっぱいの大原小をつくろう」に決まりました。「あいさつは人と人の心を通わすことば」であり、それにプラス「笑顔」が加わることで、他者に元気も与えてくれます。学校や家庭、地域でも「笑顔あふれるあいさつ」が行き交う環境づくりを学校と保護者・地域が連携して実践していけたらと思います。皆様方のさらなるご協力をお願いします。



自己有用感のもてる子供たちへ

様々な調査データで、日本人は、「自己有用感(自己肯定感)が低い。」とよく言われます。確かに私自身、「あなたの良さは何？」という問いに対して、答えに窮してしまいます。この要因の一つには、日本人の美德、「謙虚さ」があるとも言われています。これまでの自分自身を振り返ると、課題を指摘され、それを克服してきた人生のような気がします。「〇〇は、□□がよいところだから、どんどんそれを伸ばしなさい。」という時代では無かったかもしれません。しかし、人は褒められることで、よさを認められることで「自信」という大きな財産をもつことができます。学校では、今年度「子供たちのよさを見つけ、褒めて伸ばそう。」と考え、指導しています。「他者から認められること」は、存在意義を自覚でき、生きる喜びを感じられると思うからです。他者から認められ、自己有用感が高まれば、目的意識をもち、意欲的となり、さらには、「他者のよさを認める」言動につながると考えます。親とすると、どうしても我が子を厳しく見がちですが、少し見方を変えてみることで、お子さんのよさが見つかるかもしれません。子供たちが自己有用感のもてる環境をつくっていききたいものです。

1年生を迎える会



1年生を迎える会がありました。総務・図書委員会の児童が、1年生の紹介やレクリエーションを通して楽しませました。みんなの笑顔がいいですね。

田車押し



3年生以上の児童が、保護者と一緒に行いました。おいしい餅米を食べたいと思います。活動の前には、保護者の協力もありがとうございました。

田代小との交流学习



田代小学校との交流学习がありました。6年生は、小中連携の一環で、中学校の先生による算数の授業を受けました。他学年の児童も、いつもより多い人数で学習し、とても有意義な一日を過ごすことができました。極小規模校にとっては、とても貴重な活動です。

愛校作業



PTA会長 有里 毅司
地域の皆様、先日の愛校作業はありがとうございました。皆様のおかげで学校がきれいになり、子供たちは、伸び伸びと遊んだり学んだりすることができます。感謝申し上げます。

いちご狩り



横原さんのご厚意により、今年もいちご狩りをさせていただきました。初めに、いちご狩りの仕方を教えてもらいました。新鮮ないちごの味は格別です。自分で摘んだいちごは、すべてお持ち帰りをしたので、家ではいちごを食べながら楽しいひとときを過ごしたのではないのでしょうか。県内でもいちご狩りが体験できる学校は、ほんのわずかです。毎年、ありがとうございます。

6月行事予定

- 1日(木)校内人権週間(~7日)
- 2日(金)田の草取り
- 4日(土)歯と口の健康週間(~10日)
- 5日(月)町教委学校訪問
- 8日(木)3年町内郷土めぐり
- 9日(金)プール開き
- 10日(土)土曜授業日・心の教育の日
- 13日(火)AED救命救急講習(5・6年)
- 14日(水)国体手旗作成
- 16日(金)三校合同危険箇所点検
PTA研修会、懇親会(予定)
- 21日(水)ゆうゆうカフェ
- 22日(木)学校運営協議会
- 23日(金)大原きらきら週間
- 28日(水)がん教育(5・6年)